

2020年

令和2年度事業報告

公益社団法人 東京都歯科医師会

## 2020年 令和2年度事業計画の基本方針

歯科医師法第一条には、「歯科医師は、歯科医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする」とあり、歯科医師が担うべき崇高な使命が掲げられている。

本会は、この使命を全うするため、歯科医学・歯科医療に携わる東京都の歯科医師を代表とする公益社団法人として、医道の高揚、歯科医学・医術の進歩発達、公衆衛生および予防医学の普及向上に努め、東京都民の保健・医療・福祉の向上に寄与する事業を実施してきた。

本年度も次の5つの事業を中心として地域社会の健全な発展を図るものとする。

1. 口腔保健啓発を通して公衆衛生の向上を実現する事業
2. 事故・災害若しくは犯罪による被害者及び障がい者を支援する事業
3. 歯科医療従事者を育成する事業
4. 都内歯科医師の事業基盤を安定化させる事業
5. その他の事業

# 事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

## 1. 口腔保健を通して公衆衛生の向上を実現する事業

この事業は、都民が口腔保健に関する知識習得により健康な身体を維持し、必要なときに安心な歯科医療サービスを楽しむことができることを目的とする

### (1) 都民に対する公衆衛生活動・普及啓発、情報提供

#### ① 公衆衛生の主な事業活動

##### 1) 都民向けの講演・イベント事業

⇒明細書 P92

・東京デンタルフェスティバル 2020in 北区：令和2年12月6日（日）WEB開催。

申込者数：1,300件（視聴率：70.7%）

視聴件数：919件（アンケート回答数：804件（回答率：87.5%））

##### 2) 歯と口の健康週間事業等

⇒明細書 P58

・上野動物園行事

令和2年6月7日（日）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止。

##### 3) へき地（島しょ地域）歯科保健普及啓発事業

⇒明細書 P62

・神津島村歯科保健普及啓発事業「第18回神津島村健康・福祉まつり」

令和2年11月7日（土）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止。

##### 4) 食育関連事業

⇒明細書 P59-60

・多職種向け食育支援講習会

令和2年8月24日（月）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止。

##### 5) 地域包括ケアシステム体制の整備

⇒明細書 P65-66

・介護職のための在宅歯科医療研修会

###### ① 令和2年9月11日（金）

講演「介護医療連携に役立つわかりやすい歯科知識」参加者数13名

###### ② 令和2年10月15日（木）「        ”        」        参加者数12名

###### ③ 令和2年12月23日（水）「        ”        」        参加者数5名

###### ④ 令和3年1月29日（金）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止。

##### 6) 歯科口腔保健推進事業

・リーフレット「DENTAL CARE FOR LIFE」20,000部、「キレイな歯で笑おう」20,000部を印刷し、東京都より都内小中高校及び特別支援学校に送付した。

##### 7) 企業歯科健診の充実と新たな職域歯科健診事業の研究および実施

新たな職域歯科健診用の健診票を成人保健医療常任委員会において作成。

(令和3年度より使用開始予定)

- 8) 2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けた  
歯科医療体制の整備に対する協力およびスポーツマウスガードの普及・啓発  
・2020年東京オリンピック・パラリンピックが延期になったことで、組織委員会及び  
競技団体からの協力依頼はなかった。

② 会誌の発行等 ⇒明細書 P89-91

- ・「東京都歯科医師会雑誌」4月号～3月号発行。ARTICLES(学術論文欄)他掲載。  
本会の会員、道府県歯科医師会、全国の歯科大学・大学歯学部、歯科関連業者、  
行政、報道機関等に配布  
(配布分は無償、その他1冊800円(税別)で有償販売)。各号約9000部発行。
- ・本会ホームページ掲載情報  
都内会員歯科診療所検索、附属歯科衛生士専門学校・都立心身障害者口腔保健セ  
ンター等の案内、都民向けイベント・講演会等の告知・募集、他

(2) 歯科医療従事者に対する卒後研修、学術研修、生涯セミナー

都内に勤務する歯科医療従事者に対して、次の有償無償の各種研修会、セミナー等を実施して、歯科医学・医術の進歩発達に寄与する。

① 卒後研修

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止。

② 学術研修

⇒明細書 P68

令和3年2月7日(日) 歯科医師会館にて、メインテーマ「デジタルデンティストリー  
ーの今」とし、馬場一美昭和大学歯学部教授、小峰太日本大学歯学部准教授の2名の講  
師を招いて会場でのリアル聴講とWEB オンライン配信を併用し、実施した。

会場 受講者数：39名(事前申込70名/定員70名) 出席率55.7%

WEB 受講者数：151名(事前申込200名/定員200名) 出席率75.5%

③ 生涯研修セミナー

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止。

④ その他の研修会等

1) 児童虐待防止事業

⇒明細書 P59-60

○子どもの虐待防止研修会：令和2年12月10日(木)

講演「コロナ禍の屋根の下で起きていること～私たちにできること」

受講者数22名

2) 禁煙支援事業

⇒明細書 P63

○禁煙支援フォーラム

講演「禁煙治療のニューノーマル オンライン診療とアプリ処方」他。

令和3年3月1日(日)より1か月間、東京都歯科医師会ホームページより  
アーカイブ配信を実施。

総視聴者数122名

3) 産業保健事業

⇒明細書 P62

○産業保健研修会 令和3年3月9日(火)  
講演「口腔がん検診—地域と企業における集団検診—」 受講者数3名

4) 糖尿病予防事業 ⇒明細書P63

○糖尿病予防フォーラム 令和3年1月30日(土)収録  
講演「歯周病と全身の健康」  
令和3年3月1日(日)より1か月間、東京都歯科医師会ホームページより  
アーカイブ配信を実施。

総視聴者数144名

5) 在宅歯科医療(認知症・介護・フレイル予防等含む)に関する事業

○在宅歯科医療研修会 ⇒明細書P64-65

①令和2年9月3日(木)  
講演「往診ではできないことがある  
—在宅訪問歯科診療に一步踏み出すために—」他。 参加者数83名

②令和3年2月16日(火)  
講演「かかりつけ歯科医が実施する在宅支援～訪問歯科診療の手技と考え方～」  
参加者数37名

③令和3年3月2日(火)  
講演「小児の訪問歯科診療～訪問歯科診療における小児の摂食機能療法の  
視点から～」  
参加者数18名

○認知症対応力向上研修 ⇒明細書P66

①令和2年10月9日(金)講演「認知症を理解するために」他、  
参加者数83名

②令和2年11月30日(月)講演「歯科医師と歯科スタッフの認知症の基礎  
知識と対応の実践～生活の継続性を見据えて～」 参加者数30名

③令和3年2月22日(月)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症  
感染拡大の影響を鑑み開催中止。

○多数歯う蝕のある子供たちに対する支援のための歯科医療従事者向け研修  
⇒明細書P60

令和3年2月15日(月)講演「児童相談所を取り巻く環境と変化」他  
参加者数21名

6) 周術期口腔ケアに関する事業 ⇒明細書 P61-62

①周術期口腔ケア導入コース研修 令和2年9月24日(木)

講演「人工関節置換術における術後感染予防策—口腔ケアを通して  
術直後から長期的な感染ゼロを目指す—」 参加者数 20名

②周術期口腔ケア基礎コース研修及び応用コース研修 令和2年10月4日(日)

講演「がん治療総論及び緩和ケア概論～周術期口腔機能管理他」  
参加者数 56名

③周術期口腔ケア基礎コース研修及び応用コース研修

令和3年1月17日(日)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症  
感染拡大の影響を鑑み開催中止。また実地研修について、令和3年2月9日(火)  
に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中  
止。

7) 口腔がん対策事業 ⇒明細書 P62-63

口腔がんフォーラム：令和3年1月30日(土)収録

講演「口の中にも「がん」ができます・・・ 歯科の診察で「口腔がん」  
の予防と早期発見を」令和3年3月1日(日)より1か月間、東京都歯科医師会ホ  
ームページよりアーカイブ配信を実施。

総視聴者数 175名

8) 歯科衛生士復職支援等事業 ⇒明細書 P94-95

①復職支援研修会 基礎コース(各期2日間)

- ・第1期 令和2年5月16日(土)、5月17日(日) 開催中止
- ・第2期 令和2年7月18日(土)、7月19日(日) 開催中止
- ・第3期 令和3年2月13日(土)、2月14日(日) 開催中止

②復職支援研修会 応用コース

- ・令和3年1月18日(月) 開催中止

③歯科衛生士離職防止講習会

- ・令和2年7月2日(木) 歯科医師会館 32名

歯科衛生士の人材確保や離職防止の施策・手法をテーマとして、歯科医師側と歯科  
衛生士側の双方から講師を招き、講演を行なった。

(3) 各種学会等の支援、医療連携

① HIV/AIDSに関する感染対策・講習会・紹介事業およびがん患者紹介事業

⇒明細書 P58-59

○協力歯科医療機関紹介事業(東京都委託)

・協力歯科医療機関数：103（令和3年3月末現在）

紹介実績（令和2年4月1日～3月31日）：協力病院/紹介件数 84件、その他（紹介状無）/紹介件数 19件、協力歯科医療機関/受診件数 初診 555件（延べ数 900件）  
継続 1,714件（延べ数 3,257件）

②東京の歯科大学・歯学部・附属病院との情報交換会

・学長、学部長、病院長会議を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止。

③都内歯科医師会の研修会および本会会員主催の都内研修会等に対する協力

2. 事故・災害若しくは犯罪による被害者の支援と、障がい者の口腔保健の向上に寄与する事業

この事業は、事故や災害、あるいは犯罪により不幸にして被害を受けた医療弱者に対する支援と、障がい者の歯科診療を中心に口腔保健の向上に寄与することを目的とする。

(1) 事故・災害等による被害者支援、犯罪による被害者支援、災害時緊急歯科診療

事故または災害時における医療救護活動は、都民の生命と身体を守る要となる重要なものである。本会では、東京都地域防災計画の一翼を担うため、各防災機関との緊密な連携をとり、会員歯科医師を中心として各種訓練や知識習得に励むものとする。

① 事故・災害による被害者支援

1) 災害対策(九都県市合同防災訓練への参加、および関東地区歯科医師会との連携を含む) ⇒明細書 P56

・令和2年度東京都・北区合同総合防災訓練 令和2年11月22日（日）

北特別支援学校および都障害者スポーツセンターにて、地区（滝野川・北）が主体となって医療救護活動訓練および検視・検案・身元確認訓練を実施。

2) 身元確認研修会 ⇒明細書 P57

・開催中止

3) トリアージ研修会 ⇒明細書 P57

・開催中止

4) 日本歯科医師会災害歯科コーディネーター研修会

・災害歯科保健医療体制研修会 令和2年11月14（土）・15日（日）歯科医師会館  
本会より2名を推薦し受講

・災害歯科保健医療アドバンス研修会 令和2年10月18日（日）WEB開催  
本会より2名を推薦し受講

5) 警察歯科医会全国大会への参加

・第18回警察歯科医会全国大会（鹿児島） 令和3年2月6日 WEB開催

東京歯科大学法歯学・法人類学講座 橋本正次教授を代表として、ポスターセッション

ョンに参加。

6) 公益社団法人被害者支援都民センター構成員として啓発活動

同センター理事として参加。パンフレット頒布、会館自動販売機売上金の一部を寄付。

7) 東京都犯罪被害者支援連絡会との連携

同連絡会会員として、被害者の支援、被害の回復・軽減、再発防止等を推進。

(2) 障がい者の口腔保健の向上（東京都立心身障害者口腔保健センターの運営）

東京都立心身障害者口腔保健センターは、地域の一般医療機関では困難な障がいのある方の口腔保健の向上を目的に指定管理事業者として全面的に運営を委託されている。事業の一層の発展に励むものとする。

① 障がい者の歯科診療

⇒明細書 P98

所内来所患者数 10,091 名、巡回・訪問診療患者数 199 名

（令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月）

② 歯科医療従事者、障がい者（児）の保護者および障がい者（児）施設職員・学校教職員等への教育研修

⇒明細書 P99-100

所内研修 延人数 346 名、地域派遣研修 延人数 84 名（令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月）

③ 障がい者歯科医療ハンドブックの作成配布及び障がい者歯科医療に係る広報活動

○個別研修会アドバンスコース等で配布。

広報活動：センターだより第 35 号～37 号発行、連携だより第 24 号発行、掲示板 令和 2 年 4 月、8 月、12 月号発行。令和元年版東京都立心身障害者口腔保健センター事業概要発行。令和 2 年度版東京都内口腔保健センター施設概要発行。ホームページ「調査・報告」新規ページの増設（来院時アンケート、調査研究を掲載）「交通アクセス」、「診療システム」（改訂）。センターリーフレット「矯正歯科診療」（新規）「言語聴覚療法のご案内」「初めて言語療法を受ける方へ」「治療と予防」「摂食嚥下外来のご案内」「障害のある方への歯磨き介助」（改訂）

学会活動：秋季日本歯周病学会学術大会ポスター発表（1 題）、日本障害者歯科学会ポスター発表（2 題）、シンポジウム参加日本老年歯科学会学術大会ポスター発表（1 題）

3. 歯科医療従事者を育成する事業

国家資格である歯科衛生士の養成と要介護者や通院不可能な高齢者に対する在宅歯科診療に対応できる東京都介護職員初任者研修資格の取得に努める。また、学生、卒業生を対象に無料職業紹介を実施し、歯科衛生士の離職者の増加に伴う歯科衛生士の需給問題の解消に努める

とともに、地域歯科医療を更に充実させることに励む

(1) 歯科衛生士の養成事業（歯科衛生士専門学校の運営） ⇒明細書 P93-94

- ・在籍学生は令和2年4月時点で、3年生（第45回生）のみ、24名である。
- ・都歯雑誌付録、都歯HPにて求人票を随時募集。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応として、日々の消毒の他、環境整備を実施。  
休校(4/10(金)～5/31(日)、7/13(月)～7/31(金))。  
感染拡大の状況に応じて、リモート講義を随時実施。  
臨床・臨地実習を校内実習に振り替え。
- ・歯科衛生士国家試験3月7日(日)、合格発表3月26日(金)
- ・令和3年3月15日(月)、最終の在籍学生となった第45回生24名が全員卒業した。

4. 都内歯科医師の事業基盤を安定化させる事業

本会が実施する公益活動は、会員である独立事業主の歯科医師の本業とは離れた協力により実施されている。こうした民の公益活動を継続的に実施するには、歯科医師としての経営基盤や業務基盤の安定が絶対の必要条件となる。本会では歯科医師への支援事業に励むものとする。

(1) 医療保険制度の適正な運用のための事業 ⇒明細書 P83-87

- ①・保険講習会 令和2年12月16日(水) 歯科医師会館 出席者62名  
演題「歯周治療の流れとSPT・P予防を成功させるための患者さんに優しいSRPテクニック」・「歯科保険請求の留意点」・「行政による指導の現況」
- ・施設基準のための研修会
  - 【第1回】令和2年7月22日(水) 歯科医師会館、出席者56名
  - 【第2回】令和2年8月6日(木) 歯科医師会館、出席者53名
  - 【第3回】令和2年10月1日(木) 歯科医師会館、出席者54名
  - 【第4回】令和2年12月14日(木) 歯科医師会館、出席者63名
- ・院内感染防止対策研修会
  - 【第1回】令和2年6月26日(金) 歯科医師会館、出席者17名
  - 【第2回】令和2年8月27日(木) 歯科医師会館、出席者16名
  - 【第3回】令和2年10月15日(木) 歯科医師会館、出席者14名
- ・新規指定医療機関保険講習会
  - 【第1回】令和2年8月18日(火) 歯科医師会館、出席者65名(51医療機関)
  - 【第2回】令和2年11月10日(火) 歯科医師会館、出席者22名(17医療機関)
  - 【第3回】令和3年2月10日(水) 歯科医師会館、出席者48名(39医療機関)  
(新規に指定を受けた保険医療機関を対象に、保険請求や診療等に関する指導を自主的に行うものであり、未入会を問わず出席可能となっている。)
- ・保険医・医療事務担当者合同講習会  
令和3年2月4日(木) 歯科医師会館(開催中止、資料のみ申込者へ送付)  
(保険請求上の留意点や各種事務手続に関して、保険医及び医療事務担当者の方々

を対象に未入会を問わず出席可能となっている。)

- ②・「診療報酬明細書記載要領」(3つ折り・2つ折り)を作成・配布。  
(令和2年4月版、7月版、10月版の作成。)
  - ・指導書作成常任委員会にて、「わかりやすくまとめた歯科保険請求図表集」の作成・配布。
- ③・地区保険担当理事連絡協議会(【第1回】令和2年7月20日(月) 歯科医師会館、【第2回】令和3年3月29日(月) 歯科医師会館)を開催。
  - ・地区への文書連絡、本会ホームページを通じて周知。

## (2) 個人事業主としての歯科医師の事業基盤強化

- ① 医事相談(都民に対する無料電話歯科相談) ⇒明細書P81  
相談件数 357 件。
- ② 医事紛争解決のための対応(医事処理) ⇒明細書P70-80  
新規事例 21 件、解決事例 16 件
- ③ 「地区医療管理、税務担当者連絡協議会」を令和3年1月に実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、見送った。
- ④ 福祉総合保険 ⇒明細書P87-88
  - ・令和2年4月～令和3年3月 死亡・廃疾保険 120 件(55,790,000 円)、傷病保険 1,316 件(146,240,000 円)、火災保険 0 件(0 円)、災害保険 8 件(400,000 円)、保険金合計 202,430,000 円。

## 5. その他の事業

歯科医師法第一条に掲げられた歯科医師の使命を全うするためには、個人ではなく団体としての活動が必要となる部分がある。本会は、地域の方々の健康を守るという大きな使命を担っており、その公益性を理解し、自覚を持った会員で構成されている。その観点から、本会組織の維持・運営は根幹をなすものであり、次の事業を行う。

### (1) 厚生文化事業

- ① 会員に対する表彰等の授与 ⇒明細書P51  
東京都歯科医師会の日表彰式 実施：令和2年10月1日(木)  
受賞者：会長表彰2名、終身会員23名、保健文化賞3地区(浅草歯科医師会、北歯科医師会、清瀬市歯科医師会)
- ② 会員に対する慶弔金等の支給  
死亡会員への献花、弔慰金の支給等を実施
- ③ 会員に対する健康増進施策等の実施 ⇒明細書P93  
「健康ウォーキング」、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を鑑み開催中止
- ④ 会員の厚生文化活動に対する補助金や奨励金の支給  
厚生文化部12部への補助金の支給。

(2) 歯科医業合理化事業

① 各種調査の実施

⇒明細書 P69-70

- ・ 歯科医業経営総合調査（全会員対象）、診療報酬頻度調査（600名地区会員数割）に調査を実施し、分析・検討を行い、報告書を作成。

② 税務相談、法律相談、融資斡旋等

- ・ 税務・法律相談は、随時、税理士・弁護士へ取り次ぎ。
- ・ 新規融資2件受付（令和2年4月～令和3年3月分）。

⇒明細書 P101

(3) 会誌の発行

※「1. 都民に対する公衆衛生活動・普及啓発、情報提供（1）都民に対する公衆衛生活動・普及啓発、情報提供②会誌の発行等」と同様。

(3) 貸館施設を貸与する等の収益事業

①有償貸与	会議室	5団体34回(件)	合計	1,774,300円
	貸室	2団体	合計	4,748,040円
②事業用不動産を貸与する収益事業	(藤枝ビル)			
			合計	19,140,000円